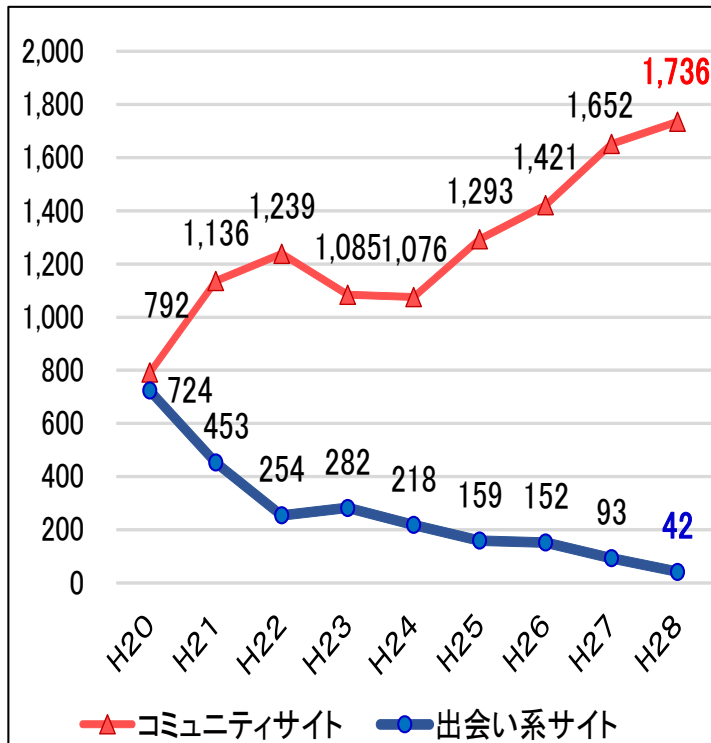


コミュニティサイトでの児童被害に注意！[児童と保護者の方へ]

1 コミュニティサイトでの被害児童数が増加しています！

コミュニティサイトにおける被害児童数は増加傾向、平成28年は過去最多に。



コミュニティサイトで知り合った人と実際に会い、児童買春や児童ポルノ等の犯罪被害に遭うケースが増えています。

ネット上では、実際の相手がどのような人なのかわかりません。大人が子供に、男性が女性になりすましていることも珍しくありません。

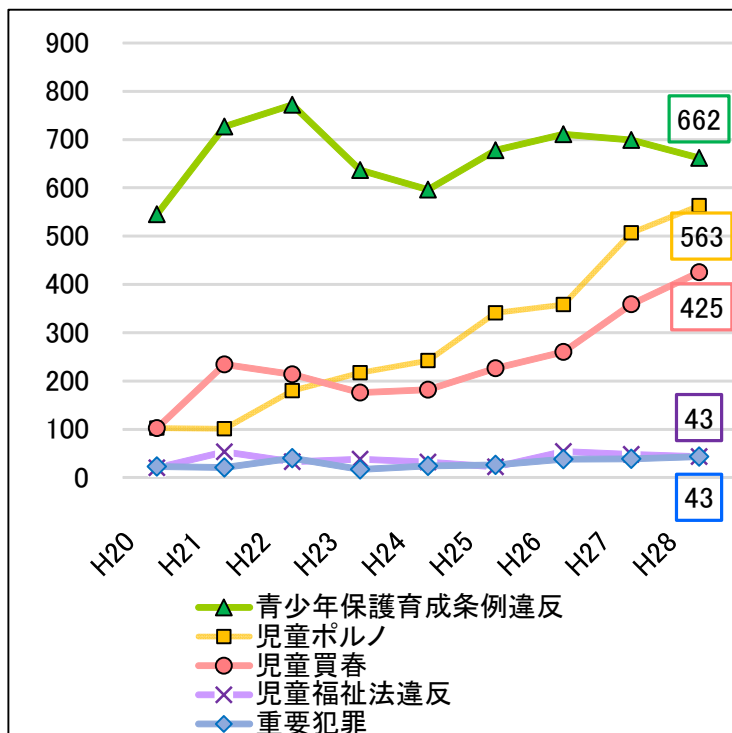
たとえ、ネット上で意気投合し仲良くなっても、実際に会うのは危険です。

ネット上で知り合った見知らぬ相手とは絶対に会わないようにしましょう。



2 児童ポルノ、児童買春の被害が増加しています！

児童ポルノでは、自画撮りによる被害が多くなっています。



自分の名前や学校名などの個人情報や自分の写真の掲載は、後に脅される原因となることがあります。

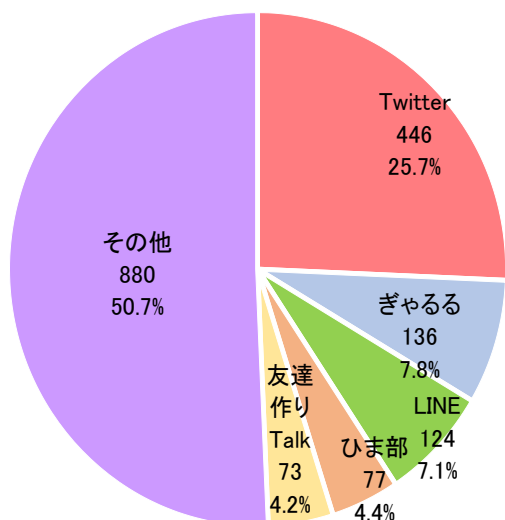
これくらいならといった気持ちで画像を送ったところ、段々と相手方の要求がエスカレートし、最終的に自分の裸の画像を送ってしまうケースも発生しています。

一度、あなたの画像がネット上に載ってしまったら、そのすべてを削除することはほぼ不可能です。



3 SNSの使い方、間違っていないですか？

被害児童の3人に1人は、TwitterやLINEでの被害です。



中高生が日常的に使用しているSNSでも被害が多発しています。

Twitterでは、援助交際を募るような不適切な書き込みをし、児童買春等の被害に遭うケースが多く見られます。こうした書き込み自体が、法律違反となり取締りの対象になることがあります。

LINEでは、おもしろ半分で友達とのグループに知らない大人を招待し、それがきっかけとなり、グループ内の友達がその大人から裸の写真を送られるなど、児童ポルノの被害に繋がるケースが多く見られます。

援助交際や、異性との出会い目的でのSNS利用は絶対にやめましょう。

4 犯罪被害から身を守るための3つの約束

➤ 書き込まない

異性との出会いを求める書き込みや、援助交際を募るような不適切な書き込みは絶対にやめましょう。重要犯罪の被害に遭うリスクが高まります。

➤ 掲載しない

自分の名前、学校名、住んでいる市区町村などの個人情報や、自分や友達の写真を安易に掲載しないようにしましょう。ネット上に掲載する情報は世界中の知らない人々に見られるということを忘れないことです。

➤ 会わない

コミュニティサイトやネット上の様々なサイトで知り合った人とは会わないようにしましょう。ネット上では全くの別人になりすますことができます。言葉巧みにあなたを信用させようとする悪意を持った人もいます。



5 保護者の方へ

- ▶ コミュニティサイト等での被害、トラブルの実態を知ってください。

例えば、平成 28 年中のコミュニティサイト等に起因する児童被害のうち 4 人に 1 人は Twitter での被害でした。Twitter 上では、年齢確認をすることなくアダルト動画が閲覧できたり、援助交際を募る書き込みができます。どのような画像や書き込みがあるか試しに検索してみてください。

- ▶ フィルタリングを有効活用してください。

例えば、スマホでは携帯電話回線による接続のほか、無線 LAN 回線による接続、アプリによる接続の3つのフィルタリングが必要です。フィルタリングをしていれば 100 %被害を防げるものではありませんが、子供を被害から守るためのツールとして有効に活用しましょう。



なお、LINE や Ameba 等 EMA（モバイルコンテンツ審査・運用監視機構）の認定サイトやアプリについては、フィルタリングの利用の対象外となっていますので、フィルタリングが有効になっていても利用することができます。

- ▶ 家庭におけるルールづくり、子供の見守りをしてください。

家庭において親子で話し合い、安全なインターネット利用のルールをつくりましょう。インターネットの利点も踏まえつつ、年齢や利用状況に応じた無理のないルールとし、トラブルに巻き込まれそうになったときには、早期に相談ができる雰囲気醸成し、子供の行動を見守りましょう。